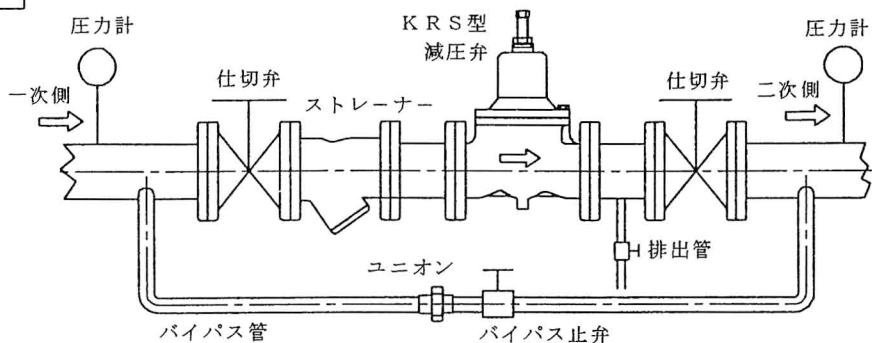


KRS型水用減圧弁の取扱説明書

取り付けに際しての注意事項

- 減圧弁を取り付ける前に、配管内の異物・スケール等を完全に除去してください。
- 配管図例に示す様に減圧弁回りには、圧力計・ストレーナ・仕切弁・バイパス管を取り付けてください。
- 減圧弁の取り付け向きは弁箱の矢印を流体の流れ方向に合わせて取り付けてください。
- 通気・通水時は、必ずバイパス管で管内の異物を完全に除去してから減圧弁を作動させてください。
- 長時間、通水を止められる場合には配管内の水を完全に抜き、減圧弁前後の仕切弁を閉じてください。

配管図例



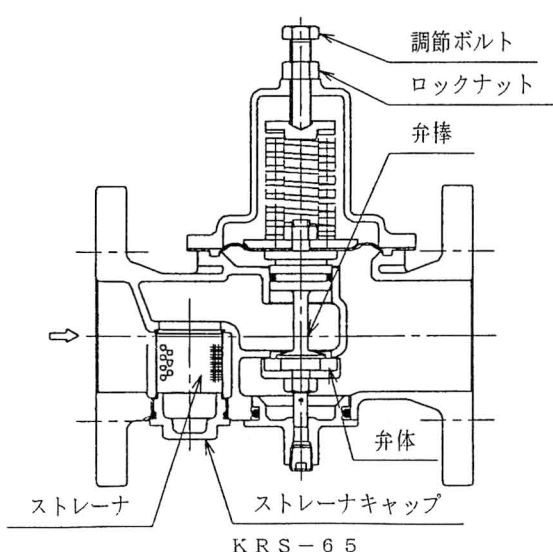
設定圧力の変更

- ロックナットを緩め、調節ボルトを右回転（時計の針と同方向）すると設定圧力は上がり、左回転（時計の針と逆方向）すると設定圧力は下がります。
- 設定圧力の変更後は、調節ボルトをロックナットで固定してください。

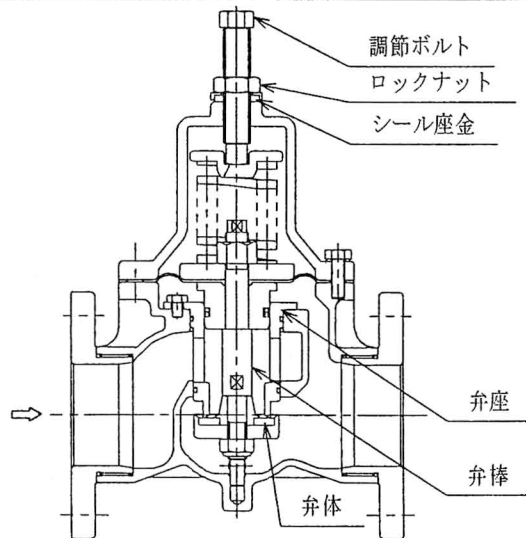
保守点検

- 異物により、ストレーナが目詰まりして流量不足になりましたら、下記要領にてストレーナを掃除してください。
 - ① 仕切弁を閉じてください。
 - ② ストレーナキャップを緩め、ストレーナを取り外してください。
 - ③ 取り外したストレーナを水洗いしてください。
 - ④ ストレーナを元のおりセットして、ストレーナキャップをねじ込み、締付けてください。
 - ⑤ 仕切弁を開いた後、ストレーナキャップ回りから水漏れがないことを確認し、ご使用ください。
- 不具合の際には、下記表に従って処置してください。

不具合の状況	不具合の原因	処置
調整が出来ない。 漏れが多い。	・弁体、弁座に異物がかんでいる。 又は傷がついている。	分解して異物を除去してください。 傷がついている場合は交換してください。
	・ダイヤフラム、Oリングが損傷している。	ダイヤフラム、Oリングを新品と交換してください。
流量が不足している。	・ストレーナが目詰まりしている。	分解してストレーナを掃除してください。



KRS-65



KRS-75・100